

# ICT ニュース 2026/6 月号

2026/6/16 発行 ICT/感染管理委員会

梅雨の時期をむかえ食中毒による感染性胃腸炎と熱中症の発生が懸念されます。

「この時期にマスクは必要？」と思っている方は多いと思いますが、感染対策上、医療機関においてはマスク着用が推奨されています。そのため、それぞれの対策をしながら対応していく必要があります。

また、昨今の中東情勢の影響もあり適切な個人防護具の使用をお願いします。



## ●夏場に発生する食中毒とは

腸管出血性大腸菌(O157、O111 など)やカンピロバクター、サルモネラ属菌です。食中毒を引き起こす細菌の多くは、室温約 20℃で活発に増殖し始めます。また、多くの細菌は湿気を好むため、気温が高くなり始め湿度も多くなるこれからの梅雨時には細菌による食中毒が増える要因となります。

### ☆食中毒予防の 3 原則

#### 1. つけない

手洗い、調理器具(まな板)の使い分けと消毒

#### 2. 増やさない

買い物後はすぐに冷蔵(10℃以下)・冷凍(-15℃以下)

食べ物の常温放置の禁止

#### 3. やっつける(加熱処理)

肉や魚は中心部温度が 75℃で 1 分間以上加熱



## ●熱中症とマスク

マスクの着用は個人の判断に委ねられるものではありませんが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容されています。

当院でも施設内における職員や患者、訪問者にはマスク着用をお願いしています。

熱中症リスクが高くなる場合には、エアコンや扇風機、換気により温度や湿度を調整し、暑さを避けこまめに水分を補給することが大切です。

職員皆さんのマスク運用方法が変更になりました。以前は敷地内でも着用をお願いしていましたが、職員出入り口で出勤時に着用、退勤時に外すという運用でお願いします。

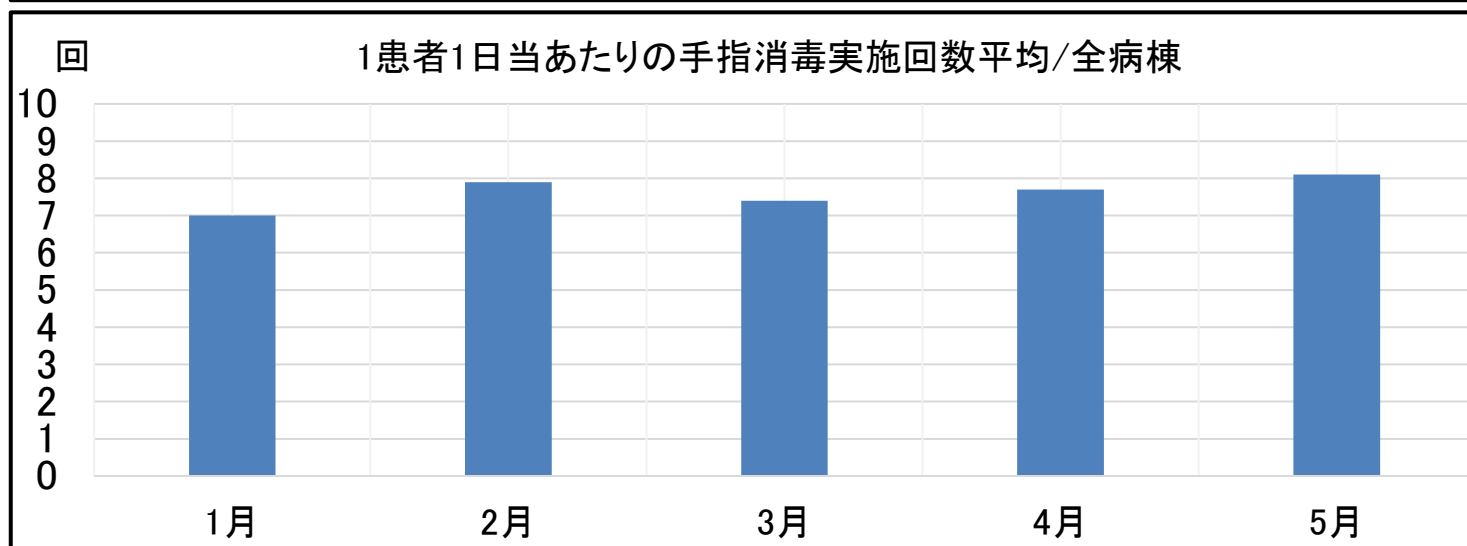
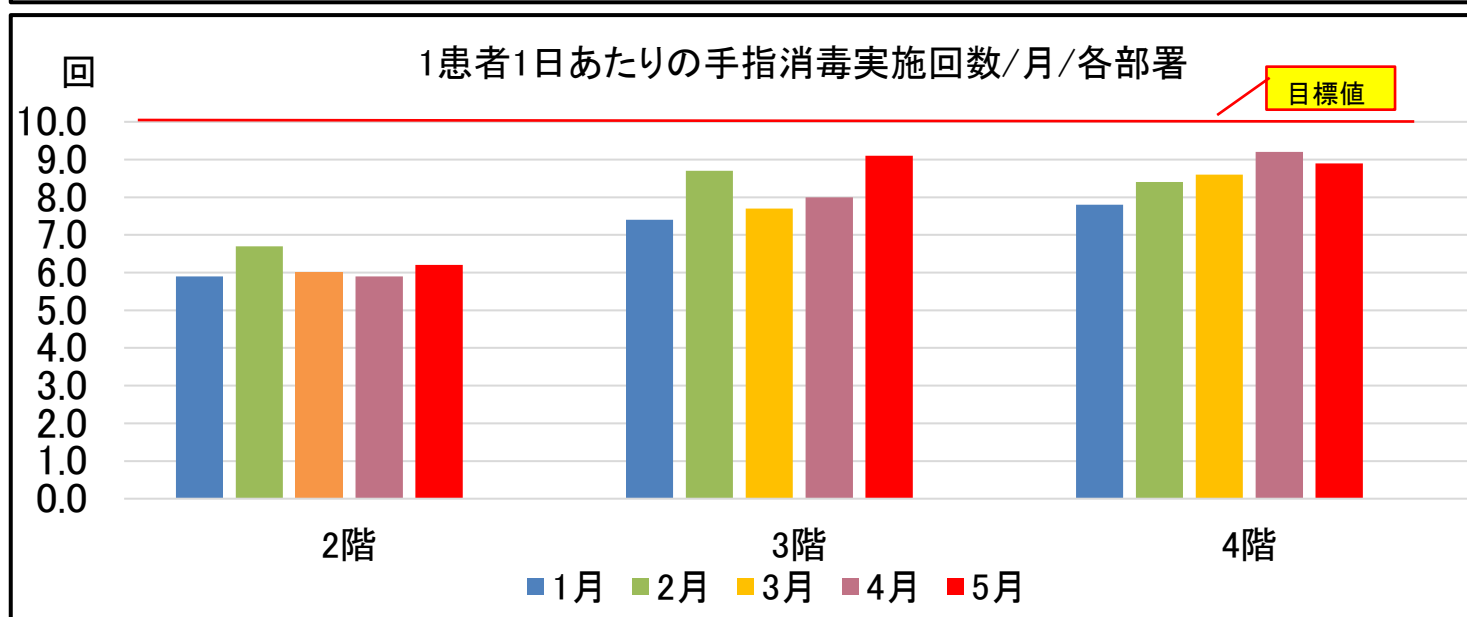
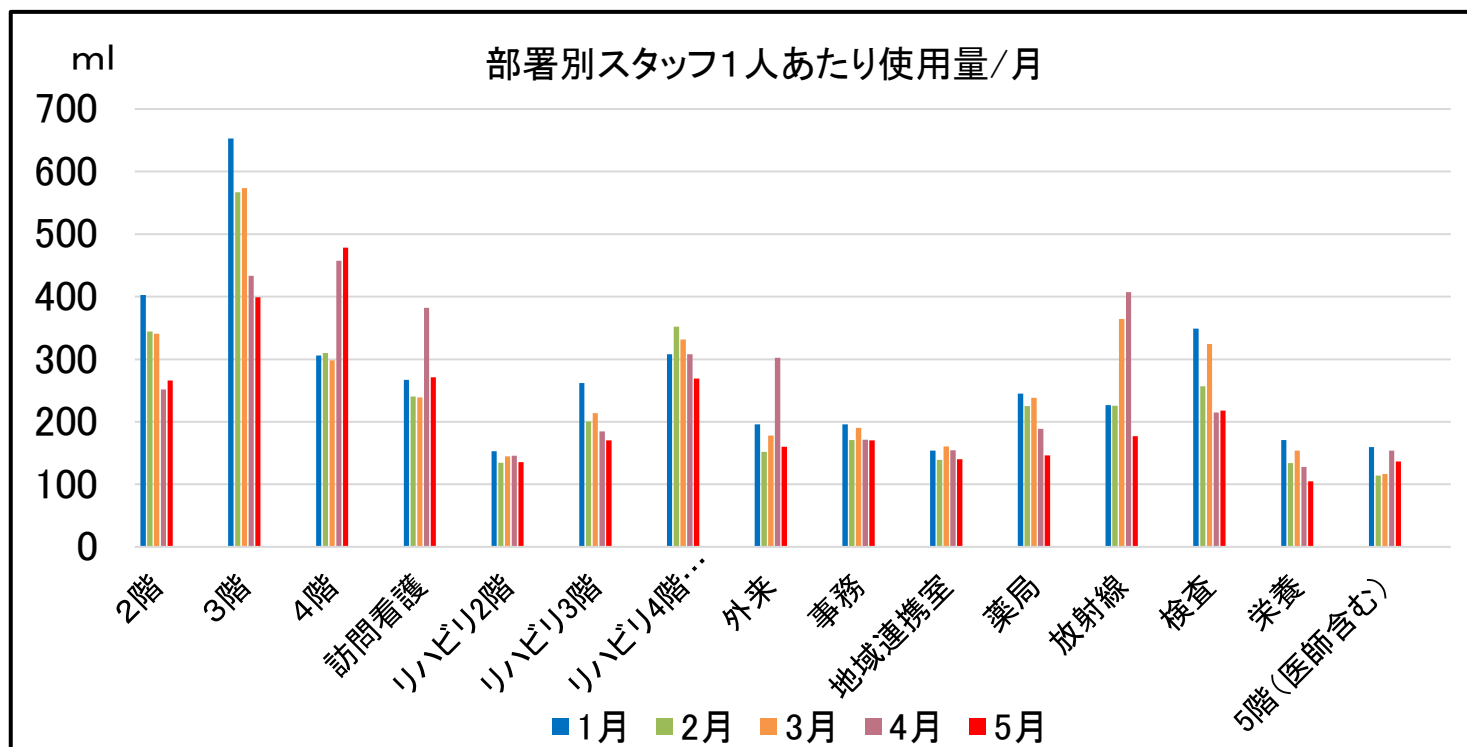
## ●個人防護具の適正使用とは

個人防護具(PPE: Personal Protective Equipment)とは、作業者や医療従事者を危険や病原体から守るために着用する装備の総称です。状況やリスクに応じて手袋、マスク、ガウン・エプロン、ゴーグル、フェイスシールドを選択し、自身の体を保護するとともに周囲への汚染を防ぐ役割を果たします。

これ以外の目的で無駄に使用することのないよう適切な使用をお願いします。



# ★2026 年アルコール手指消毒剤使用量



★使用量が減少した部署が多かったですが、実施回数は僅かに増加しました。